

高松宮殿下記念世界文化賞

PRÆMIUM IMPERIALE

IN HONOUR OF PRINCE TAKAMATSU

PRÆMIUM
35
IMPERIALE



世界文化賞受賞記念アーティストトーク 2024

「アン・リー監督と映画を語る」

日時:11月21日(木) 16:00~17:30 (開場 15:30)

会場:鹿島KIビル 大会議室 東京都港区赤坂6-5-30

主催:公益財団法人 日本美術協会 後援:公益財団法人 鹿島美術財団

対談者:渡辺祥子(映画評論家)

『ブロークバック・マウンテン』(2005年)、『ライフ・オブ・パイ/トラと漂流した227日』(2012年)で、2度の米国アカデミー賞監督賞を受賞した台湾出身のアン・リー監督が映画について語ります。米国を拠点に世界で活躍する一方、小津安二郎監督の作品に影響を受けたというリー監督。洋の東西を問わず、時代の奔流と向き合う人間を描くとともに娯楽性のある作品は、多くの映画ファンを魅了してきました。高校時代に映画の虜となり、国立台湾芸術学校(現・国立台湾芸術大学)へ。卒業後は渡米して、イリノイ大学やニューヨーク大学大学院で演劇と映画製作を学びます。長編映画デビューは1991年の『推手』。映画化は難しいと感じることはあっても、技術を駆使して困難を乗り越えて映画作品として実現してきたといいます。国際的な名声を得ている映画監督の世界を体験できる、この機会をお見逃しなく。